

かんちゃんのお遍路さん (11)

泉州労山 管和彦

88 番札所大窪寺で結願し、～1 番札所～帰阪～高野山奥の院へ。

私は 2013 年 5/12～6/17、37 日間かけて四国 88 カ所 1200km を、一人で大半野宿しながら休まず歩いてきました。**37 日目** 1 番札所霊山寺お礼参り。徳島からフェリーで和歌山へ。昼過ぎに大阪へ戻り自宅泊。**38 日目** 高野山奥の院へお礼参り。

6/17-37 日目 ホテルを出ると水平線から清々しいご来光。いよいよ遍路も今日でおしまいかと思うと名残惜しい。ラストランを一步一步心に刻み、大坂峠を越え、快調に進むと見覚えのある 3 番札所へ。納経をしないのでお参りをしながら 1 番札所霊山寺へ。無事に 1200 km を歩かせて頂いたお礼参りを済ませる。霊山寺境内には、今から遍路を始める人があちらこちらに居て、きっと不安を抱えながらのスタートだろう。タクシーで徳島港へ急ぐ。乗船したらビールを飲んでひと寝入りし 13 時過ぎには和歌山港着。南海電車とタクシーで我が家へ 14 時着。5/11 に家を出発してから久しぶりの我が家は、まるで他人の家のように一瞬戸惑う。チャイムを鳴らすと、懐かしい顔が。最後まで持ち歩いた品々を次に回る人のために記録撮影。バタバタと片付けをした後ゆっくり我が家を過ごす。1200 km 37 日間の道中の辛かった事や楽しかった事が走馬灯のように思い出される。

6/18-38 日目 車で高野山へお礼参りする。金剛峰寺その他のお寺をお参りしながら弘法大師空海の眠る奥の院へ。お礼参りをして納経帳に書き入れて頂いて、全ての行事は完了。

遍路を終えて

◎遍路中は、人がこの世に生まれてきた意味や、やがて迎える死についても考え、いかに人生を生きるべきかを嫌というほど考えつづけた。他人には思いやりの心を動植物には憐みの心を持ち、心穏やかに生きようと決心した。

◎遍路後の半年間は、自分だけは巡礼時に感じた心を大切にして、心穏やかに暮らし、常に感謝の気持ちを忘れずに、思いやりの気持ちと笑顔を忘れないようにしました。ただし、もう夫婦喧嘩はせず仲良く余生を生きて行こうと心に誓ったけれど、本人の決心だけではどうにも成らぬ事が有ると改めて思い知りました。凡人に悟りの道は遠い。

◎遍路で一番心に残ったのは、お遍路に対するお接待でした。他人を思いやる無償の愛。一期一会のおもてなしの心が綿々と続いているのが四国遍路でした。私は四国遍路に出て、その「一期一会」と「こころ」に触れることが出来て本当に良かったと思います。

◎「歩き」の良さについて言える事は、私が受けたお接待や人とのふれあいは、「歩いてきたから」と思います。地元の人の話では、歩く速度よりも早い乗り物では、移動中の遍路に声を掛けられないとの事でした。もし車で行くなら、可能な限り歩いて下さい。「ゆっくり歩こ」が遍路の合言葉。ゆっくり歩けば冴えわたり「みえてくる」ものが有ります。

最後に、「何歳になっても夢を」

※夢は叶うまで抱き続けておけば、いつの日にか叶うチャンスがやって来る。

その時に勢いよく飛び出せるよう、準備を怠らず、夢は持ち続けよう……。

夢を語るのは楽しいものだ。前向きに生きられる。

※チャンスは多くない、大抵一回きりだ。その時に自分で自分の背中を押そう。

< 次回は、遍路を志す人のための装備などの解説で完結の予定です。 >